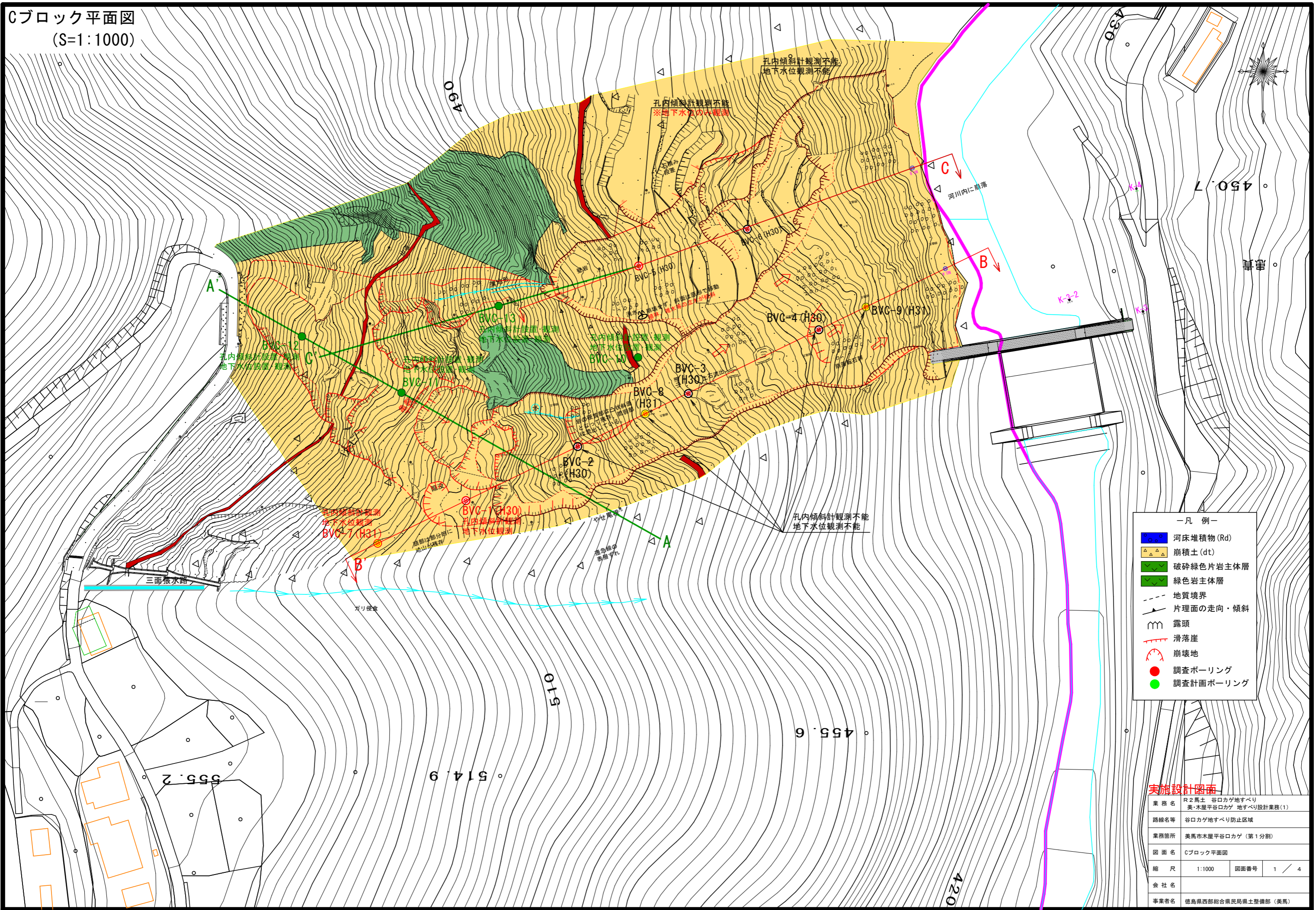


Cブロック平面図
(S=1:1000)



- 一凡例一
- 河床堆積物 (Rd)
 - 崩積土 (dt)
 - 破碎緑色片岩主体層
 - 緑色岩主体層
 - 地質境界
 - 片理面の走向・傾斜
 - 露頭
 - 滑落崖
 - 崩壊地
 - 調査ボーリング
 - 調査計画ボーリング

実施設計図面

業務名	R2馬土 谷口カゲ地すべり 美・木屋平谷口カゲ 地すべり設計業務(1)		
路線名等	谷口カゲ地すべり防止区域		
業務箇所	美馬市木屋平谷口カゲ (第1分割)		
図面名	Cブロック平面図		
縮尺	1:1000	図面番号	1 / 4
会社名			
事業者名	徳島県西部総合県民局県土整備部 (美馬)		

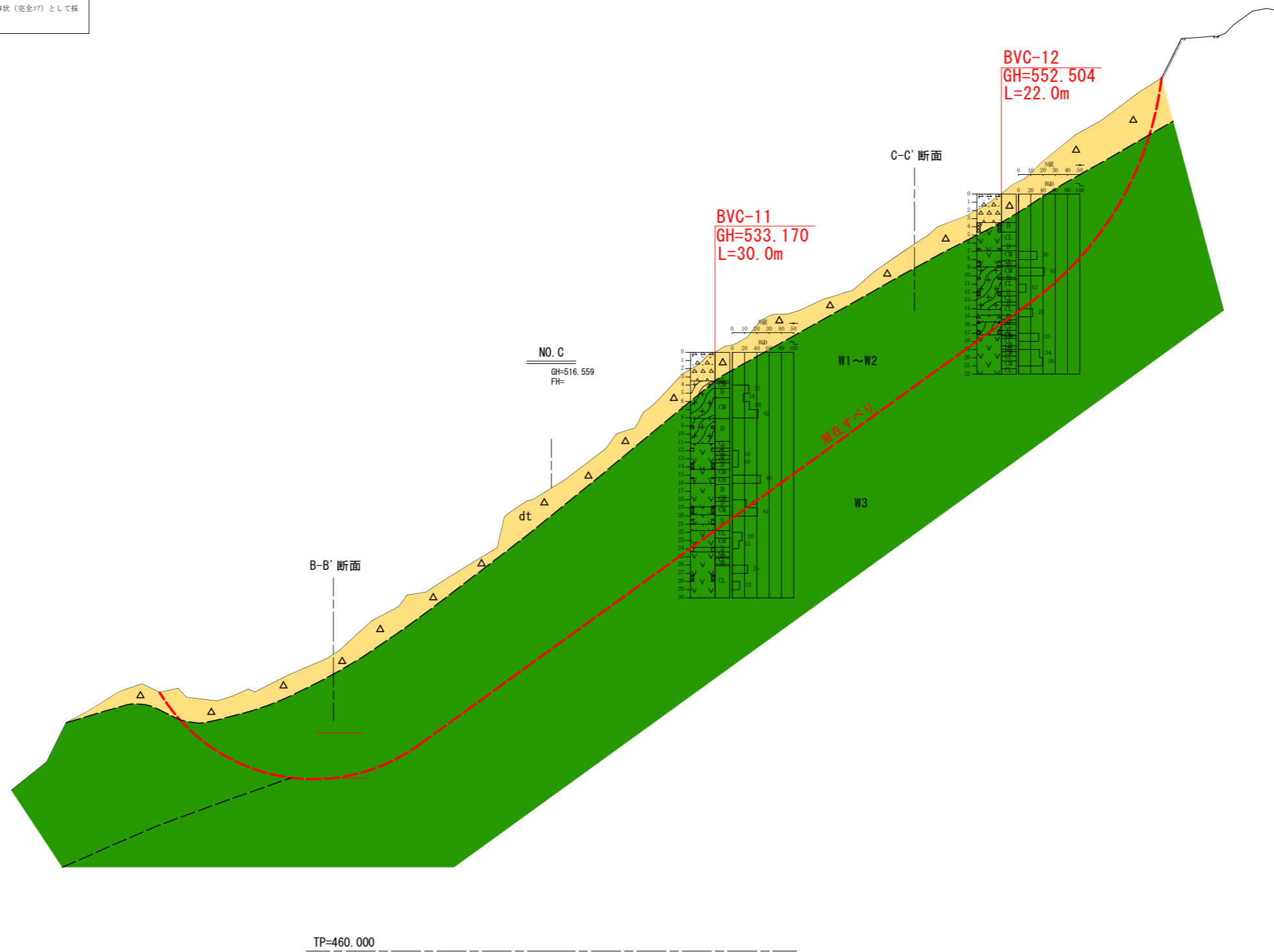
地すべり地質の区分 (藤原明敏による)

区分	名称	ボーリングコアの形状・色調	構成地質および性状
dt	崩積土	土砂状 褐色系	いわゆる広義の崩積土にて、凝縮じりローム、凝縮じり粘土、および硬質粘土・擾乱粘土などの褐色部、色調は褐色を主色調とする。旧期の崩積土はDt ₂ 、岩盤中における粘土状の擾乱部はDe ₁ 、細片～破片状の擾乱部はDr (Disturbed rock) で表示する。
W ₁	強風化岩	土砂状 原岩色系	原岩色系の粘土・硬質粘土ならびにシルト、および未固結の砂状を呈するもので、粘性土類については「岩組織」を残存し、砂質土の場合は同一の構成土質であることを原則とする。この場合、仮に色調が褐色系である場合はW ₁ ' で表示する。
W ₂	風化 破砕岩	細片～破片状 原岩色系	原岩色系の細片～破片状コア (中・古生層)、あるいはやや締まった棒状コア (第三紀層) として採取されるもので、地表踏査ではCracky rock (亀裂に富む岩)、あるいは軟質基盤岩として観察される。この場合、仮に色調が褐色系である場合はW ₂ ' で表示する。
W ₃	弱風化岩	円板状～塊状 原岩色系	原岩色系の円板状～塊状コア (中・古生層)、あるいはよく締まった棒状コア (第三紀層) として採取されるもので、地表踏査では新鮮な基盤岩として観察される。この場合も褐色系の場合はW ₃ ' で表示する。
Rf	基盤岩	棒状 (完全?) 原岩色系	新鮮な基盤岩にて、岩質のいずれを問わず棒状 (完全?) として採取され、全般的に硬質なもの。

A-A' 断面図 S=1:300

木屋平谷口カゲ

A-A' 推定地質断面図 (Cブロック)
(Sc=1:600)



- 凡 例 -

	河床堆積物 (Rd)
	崩積土 (dt)
	破砕緑色片岩主体層
	緑色岩主体層
	地質境界
	すべり面
	地下水位

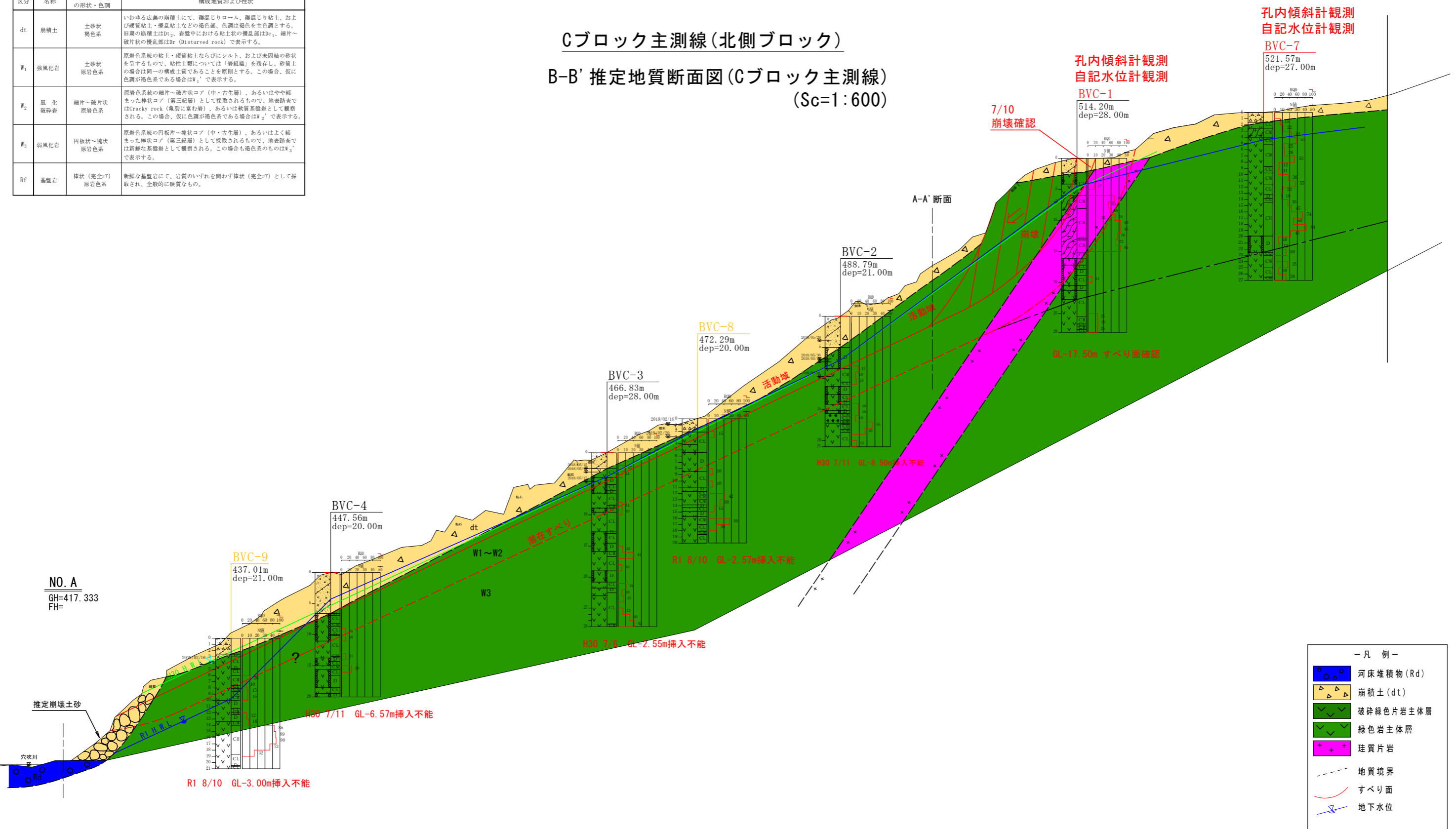
実施設計図面

業務名	R2馬土 谷口カゲ地すべり 美・木屋平谷口カゲ 地すべり設計業務(1)		
路線名等	谷口カゲ地すべり防止区域		
業務箇所	美馬市木屋平谷口カゲ (第1分割)		
図面名	A-A' 推定地質断面図 (Cブロック)		
縮尺	1:600	図面番号	2 / 4
会社名			
事業者名	徳島県西部総合県民局県土整備部 (美馬)		

地すべり地質の区分 (藤原明敏による)

区分	名称	ボーリングコアの形状・色調	構成地質および性状
dt	崩積土	土砂状 褐色系	いわゆる広義の崩積土にて、凝縮じりローム、凝縮じり粘土、および硬質粘土・擾乱粘土などの褐色部、色調は褐色を主色調とする。旧期の崩積土はDt ₂ 、岩盤中における粘土状の擾乱部はDe ₁ 、細片～破片状の擾乱部はDr (Disturbed rock) で表示する。
W ₁	強風化岩	土砂状 原岩色系	原岩系系統の粘土・硬質粘土ならびにシルト、および未固結の砂状を呈するもので、粘性土類については「岩組織」を残存し、砂質土の場合は同一の構成地質であることを原則とする。この場合、仮に色調が褐色系である場合はW ₁ ' で表示する。
W ₂	風化 破砕岩	細片～破片状 原岩色系	原岩系系統の細片～破片状コア(中・古生層)、あるいはやや締まった棒状コア(第三紀層)として採取されるもので、地表踏査ではCracky rock (亀裂に富む岩)、あるいは軟質基盤岩として観察される。この場合、仮に色調が褐色系である場合はW ₂ ' で表示する。
W ₃	弱風化岩	円板状～塊状 原岩色系	原岩系系統の円板状～塊状コア(中・古生層)、あるいはよく締まった棒状コア(第三紀層)として採取されるもので、地表踏査では新鮮な基盤岩として観察される。この場合も褐色系の場合はW ₃ ' で表示する。
Rf	基盤岩	棒状(完全?) 原岩色系	新鮮な基盤岩にて、岩質のいずれを問わず棒状(完全?)として採取され、全般的に硬質なもの。

Cブロック主測線(北側ブロック)
B-B' 推定地質断面図(Cブロック主測線)
(Sc=1:600)



NO. A
GH=417.333
FH=

TP=400.000

- 凡 例 —
- 河床堆積物 (Rd)
 - 崩積土 (dt)
 - 破砕緑色片岩主体層
 - 緑色岩主体層
 - 珪質片岩
 - 地質境界
 - すべり面
 - 地下水位

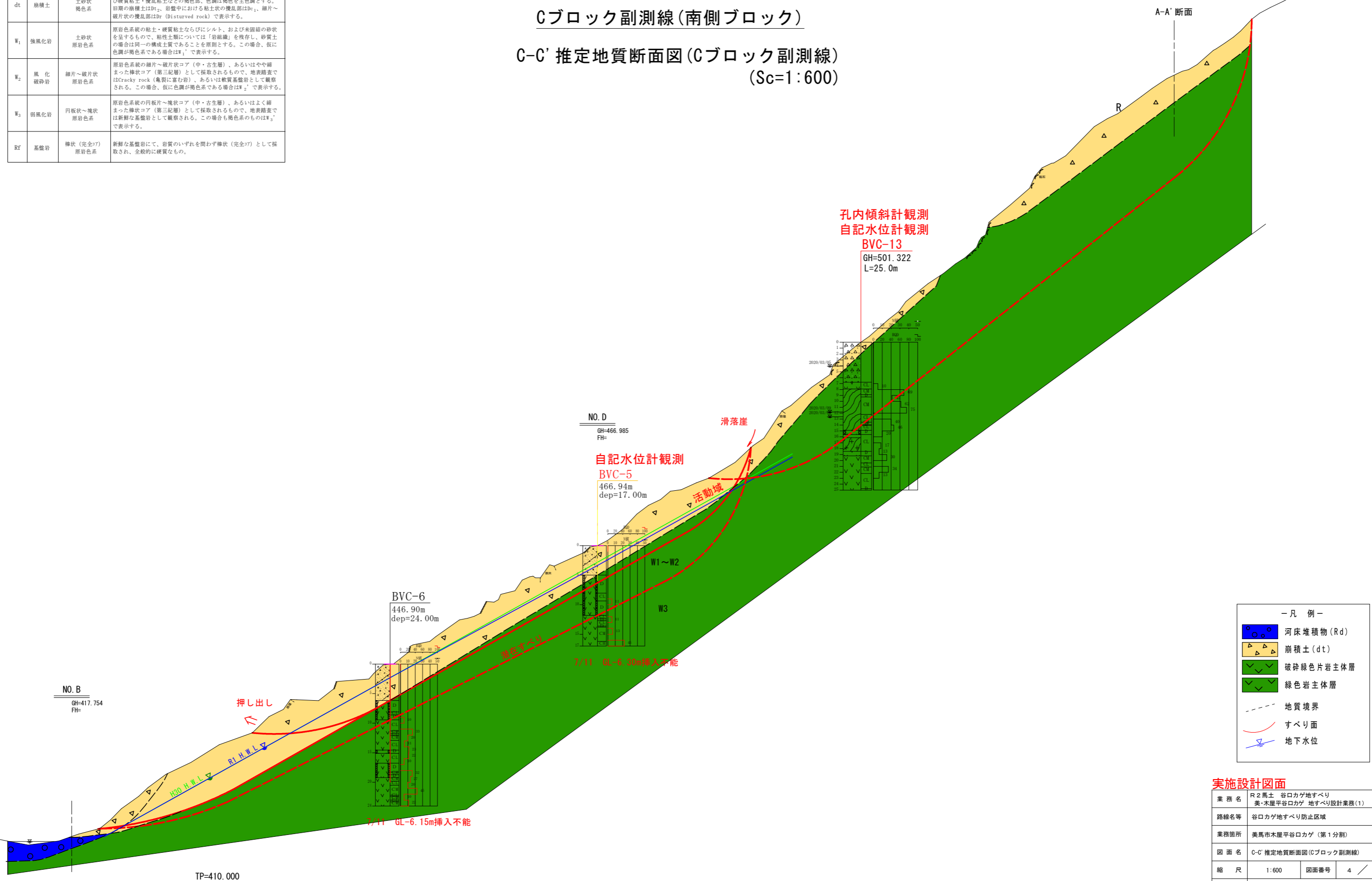
実施設計図面

業務名	R2馬土 谷口カゲ地すべり 美・木屋平谷口カゲ 地すべり設計業務(1)		
路線名等	谷口カゲ地すべり防止区域		
業務箇所	美馬市木屋平谷口カゲ (第1分割)		
図面名	B-B' 推定地質断面図(Cブロック主測線)		
縮尺	1:600	図面番号	3 / 4
会社名			
事業者名	徳島県西部総合県民局土整備部 (美馬)		

地すべり地質の区分 (藤原明敏による)

区分	名称	ボーリングコアの形状・色調	構成地質および性状
dt	崩積土	土砂状 褐色系	いわゆる広義の崩積土にて、凝縮じりローム、凝縮じり粘土、および硬質粘土・擾乱粘土などの褐色部、色調は褐色を主色調とする。旧期の崩積土はDt ₂ 、岩盤中における粘土状の擾乱部はDe ₁ 、細片～破片状の擾乱部はDr (Disturbed rock) で表示する。
W ₁	強風化岩	土砂状 原岩色系	原岩色系の粘土・硬質粘土ならびにシルト、および未固結の砂状を呈するもので、粘性土類については「岩組織」を残存し、砂質土の場合は同一の構成土質であることを原則とする。この場合、仮に色調が褐色系である場合はW ₁ ' で表示する。
W ₂	風化 破砕岩	細片～破片状 原岩色系	原岩色系の細片～破片状コア (中・古生層)、あるいはやや締まった棒状コア (第三紀層) として採取されるもので、地表踏査ではCracky rock (亀裂に富む岩)、あるいは軟質基盤岩として観察される。この場合、仮に色調が褐色系である場合はW ₂ ' で表示する。
W ₃	弱風化岩	円板状～塊状 原岩色系	原岩色系の円板状～塊状コア (中・古生層)、あるいはよく締まった棒状コア (第三紀層) として採取されるもので、地表踏査では新鮮な基盤岩として観察される。この場合も褐色系の場合はW ₃ ' で表示する。
Rf	基盤岩	棒状 (完全?) 原岩色系	新鮮な基盤岩にて、岩質のいずれを問わず棒状 (完全?) として採取され、全般的に硬質なもの。

Cブロック副測線 (南側ブロック)
C-C' 推定地質断面図 (Cブロック副測線)
(Sc=1:600)



— 凡 例 —

	河床堆積物 (Rd)
	崩積土 (dt)
	破砕緑色片岩主体層
	緑色岩主体層
	地質境界
	すべり面
	地下水位

実施設計図面

業務名	R2馬士 谷口カゲ地すべり 美・木屋平谷口カゲ 地すべり設計業務(1)		
路線名等	谷口カゲ地すべり防止区域		
業務箇所	美馬市木屋平谷口カゲ (第1分割)		
図面名	C-C' 推定地質断面図 (Cブロック副測線)		
縮尺	1:600	図面番号	4 / 4
会社名			
事業者名	徳島県西部総合県民局県土整備部 (美馬)		